

防災ラジオドラマ

グループ 「愛知県産業大学三河高等学校 放送部」

タイトル 「防災拠点 道の駅 【藤川宿】」

【SE 豪雨】

中田(母) 「起きなさい。」

中田 「うん。よく寝た気がしない。」

【SE 藤川駅・ホーム降車】

杉村 「おはよう。なんか。昨日大雨降ってたね。」

中田 「そうだな。まあ、朝、雨が上がってくれてよかったけどな。」

杉村 「きのうから、むっとする南風がきになるけど。夏休み最後の部活動だからね、・・・

【SE 部活動中の音】

先生 「静かに！ 突然だが、今日の練習はここまで、みんなも知っていると思うが、昨日からゲリラ豪雨が至るところで観測されており、最新の気象情報で、活発な雨雲が発達しながら近づいているとのことだ。この地域の累積雨量が土砂災害警戒レベルに近いので、今日はすぐ帰りなさい。」

【SE 下足ロッカー】

杉村「はいとこ帰ろう」

中田「ああ、そうだな」

【S E 雷鳴(小さい)】

杉村「向こうの空、黒くない？」

中田「そうだね、とりあえず駅まで行こうぜ。」

杉村「うん、電車が止まってないといいけど・・・。」

中田「まあでも最悪は親に迎えに来てもらえばいいし・・・。」

杉村「ふー、やあつと駅に着いた。普通電車来るから、バイバイ。」

【S E 電車発車音】

中田「これなら家まで帰れるか。」

【S E 藤川駅ホームアナウンス】

『お客様にお知らせいたします。ただいま大雨の影響により、東岡崎駅から美合駅の間で列車の運転を見合わせております。新しい情報が入り次第ご案内いたします。ご理解とご協力を
お願いします。』

【S E ホームアナウンスの後半から重なるように豪雨の音】

【S E 列車 ドア開閉音】

『お客様にお知らせいたします。ただいま男川駅から美合駅の間で土砂崩れが発生したため、この駅で運転を見合わせます。詳しい情報が入り次第お知らせいたしますので、しばらくお待ちをお願いします。ご理解とご協力をお願いします。』

中田「帰れないじゃん……」

立花「とりあえず親に連絡して迎えに来てもらおうよ。」

中田「確か。お前の父親タクシーの運転手やっていたよな。」

立花「うーん、仕事優先だから無理。地域の情報には詳しいけどね。雨小降りになったし。道の駅に急ごう！」

NA「防災タクシー」

気象警報発令時や地震水害・事故など被害現場を目撃するケースも多いので、お客さまの安全を確保しつつ、災害時優先携帯電話を通じ、可能な範囲でマスコミや関係行政機関に情報発信する取り組みです。

【SE 雨+車】

立花(父)「お客さん、この先の道路、タイヤが水没するぐらい水があふれています。安全第一です。ですので、近くの道の駅に向かいます。」

客「平成二十年八月末豪雨のこともあるから状況が良くなるまで待ちますわ。」

【SE 雨】

中田「携帯電話・通じない。」

立花「電話は、こういうときつながらないよね。」

中田「どうして、」

立花「電車運転見合わせでしょ。多く見積もって八車両の電車に千六百名乗っているかもしれない。乗客が一斉に電話連絡しようとするればどうなるかわかるでしょう？ 更に言えば上下線のホームに二編成停車すれば、ざっと三千二百名。メールのが届くと思うよ。」

【SE 車の音+雨】

中田「あのタクシー・・・」

【SE メール受信バイブ動作音】

中田「あ・メールだ。」

メール母「家は一応高台で安全だけど、道路に水があふれて危ないので、状況が良くなるまで、道の駅で待つように。」

立花「どうだった？」

中田「道の駅で状況が良くなるのを待ってと・・・」

立花「そうか、うちは、今家にだれも居ないし。」

中田「とりあえず、道の駅のほうに行くか・・・」

【SE 雑踏】

立花「人が多いね」

中田「国道一号線の道の駅だから当然。」

立花「それもそうか。」

中田「気になるのは、高速道路の状況。」

立花「高速道路が通行止めになると、国道大渋滞になるからね。」

中田「そうだな・・・。」

【SE 雷雨】

立花(父)「中根駅長、前の八月末豪雨より、ひどくなっている所もある。手伝えることあったら
言ってください。」

駅長「気象情報や交通情報はある程度インターネットを活用すれば集まるが、この周辺の状況
は、ドライバーの声を聞かないとね！」

立花(父)「美合地区から岡崎IC付近の低い土地・道路が川みたいになっている。大型車は通れ
るが、乗用車は立ち往生してる。いまずぐ対処しないと、大渋滞が発生する。防災
タクシーとして関係機関には伝えただけ。」

駅長「先ほど道の駅の混雑状況をコミュニティFMにも連絡したけど・・・。」

中田「新聞にも載ってただろ。防災拠点 道の駅」

立花「ハザードマップとかも、あまり見なくて・・・。」

中田「人のこと言えないけど、防災タクシーの娘がこれだから・・・。」

【SE 雷鳴】

立花「停電・信号機光ってないよ。」

駅長「非常発電機を動かしています。安心して下さい。」

NA「ゲリラ豪雨に伴い停電・国道渋滞・鉄道運転見合わせ、状況が深刻化していきます。」

【SE メール受信バイブ動作音】

中田（杉村）「メールだ。杉村から、美合駅で運転見合わせ、同じ車内放送ばかり、変わったことあったら教えて……。」

中田「早坂」何聞いているの」

早坂「ZIP-FM。岡崎市内の情報は、FM岡崎だけど、広い範囲の情報は受信エリアの広い放送局に限るよ。リスナーの情報も話に出るし……。」

NA「人の命に関わるるとき、放送局では、防災情報を必要に応じ放送してくれます。災害規模によっては、コマーシャル抜きで防災情報を流すこともあります。」

駅長「ダメ元で、県域FMと道路の電光表示情報板管理者に冠水情報と迂回情報を流すように頼んだら、すぐ対応してくれた。」

中田「杉村にメールでも打つか。インターネットを利用したラジオ受信機能、この時、活用しなくてどうするの？」

NA「時間雨量 50ミリを超える雨が短時間でも降れば、雨水があふれ出す危険性が高くなります。命を守る行動、高い場所に避難することが大切です。」

駅長「普段観光情報の地図パネルですが、メモ用紙とテープを用意しました。日時と道路の状況を書いて貼って下さい。地震対策用のものですが、帰宅支援マップもありますので必要な方はお取り下さい。」

【SE 雷鳴】